

■はじめに

「小平 市民版環境配慮指針 小平流暮らしの工夫」は、市民グループであるエコダイナネットワークが主体となって作成した、環境に優しい暮らし方のアイデア集です。この内容を、家庭生活や学校生活での実践につなげてもらうことを目的に、小平第二小学校で出前授業を実施しました。

この授業は、小学校や大学、市民団体と連携し、多様な主体の参加と協働によって進めることができました。

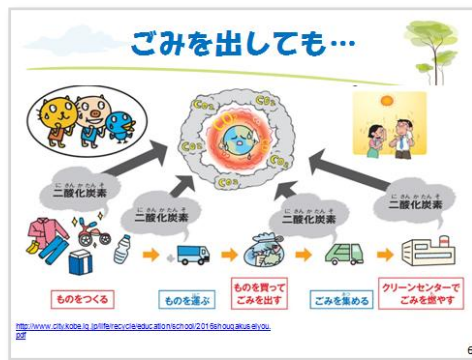
■出前授業の概要

テーマ	環境に優しい暮らし方～今日からわたしにもできること～
目標	環境意識を高め、自ら「地球に優しい行動」ができる児童の育成
対象者	小平第二小学校5年生 (2クラス) 77名
日程	平成 29年 10月 24日 (火)

■内容

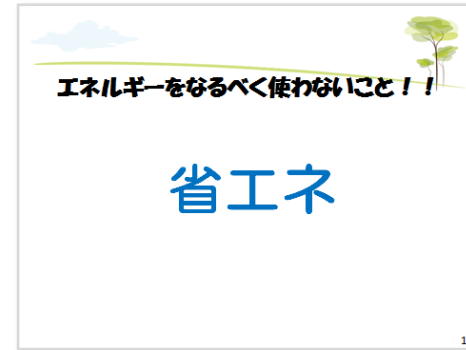
太陽光発電と省エネルギー

①今、地球の気温が上昇しており、地球温暖化という現象が起きています。その原因の一つには二酸化炭素の排出が関わっており、二酸化炭素は、電気、ガス、水を使うことやごみを出すことで排出されます。



創エネとは、太陽光パネルで再生可能エネルギーを活用してエネルギーを作り出そうとすることなど。

②このまま地球温暖化が続くとどうなってしまうのでしょうか。地球温暖化を防ぐにはどうすればよいのでしょうか。それには「省エネ」と「創エネ」が重要です。



工学院大学の先生と学生が中心となり、授業を進めていただきました。

③校舎の屋上に設置している太陽光パネルを活用して、児童たちが直接、屋上へ上がり、実物を見たり、触ったりしながら、グループごとに太陽光パネルの説明を受けました。その後、教室に戻り、電気を作る（発電）仕組み「創エネ」について学習し、屋上の先生と教室をスカイプで中継して、太陽光パネルにブルーシートをかぶせると発電量はどう変わるか実験しました。児童それぞれが実験結果を予想して、自分の考えを発表しました。さて、実験の結果はどうなったでしょうか。



太陽光発電の良いところ！

発電するときに二酸化炭素を出さない！

↓

地球温暖化の原因となる **二酸化炭素** をたくさん減らすことができる！

実験してみよう！

問題

発電量は・・・

- ① 増える
- ② 減る
- ③ 変わらない

市民版環境配慮指針と省エネクイズ

①市民版配慮指針とは、市民団体のエコダイラネットワークと市の協働で作成した家庭で取り組める「省エネ」の方法をまとめた冊子です。リビングや買い物など、家庭での様々なシーンで「省エネ」が出来ることを学習しました。



②工学院大学の学生と太陽光発電イメージキャラクターのソラミで、省エネクイズを出題して、児童にそれぞれの考えを答えてもらいました。

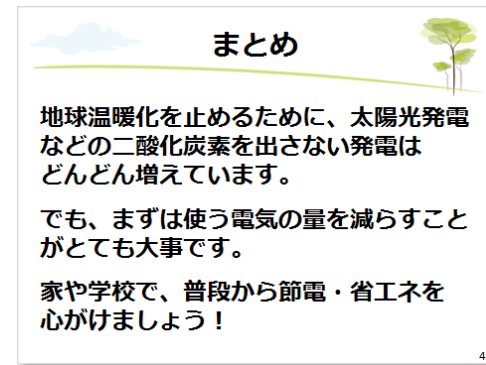
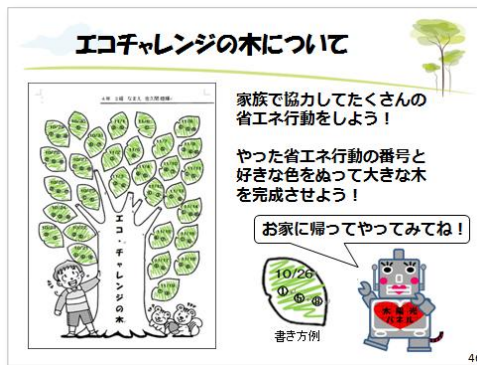


市民版環境配慮指針の説明やクイズをとおして、学校や家庭でどんな「省エネ」ができるか学ぶことは、地球温暖化に対して、自分たちにも出来る身近な取組に気づいたり、知ったり、考えたりする良い機会になりました。

「ソラミ」とは…
小平市の太陽光発電のイメージキャラクターです。

エコチャレンジの木

今回の環境出前授業で、学んだことを日々の実践につなげるため、児童の皆さんにエコチャレンジの木に取り組んでもらいます。チャレンジ期間は1カ月です。家庭で行った省エネ行動の番号と日付を葉っぱに記入し、色を塗ってもらい、きれいなエコチャレンジの木を育ててもらいます。児童の皆さんの取り組みできれいなエコチャレンジの木が育つのが楽しみです。



おわりに

地球温暖化問題が自分たちの生活と関わっていることを学習し、児童一人ひとりにとって身近な問題であり、また、自分たちの生活の中で取り組めることがある事を知る良いきっかけになったと思います。今後は、環境出前授業をきっかけに児童が地球温暖化問題をより主体的に捉え、環境配慮行動を意識し、実践してくれることが期待できます。多様な主体の参加と協働により、『小平市第二次環境基本計画』の基本目標の一つである「みんなが環境について考え、行動するまち こだいら」を一歩進めることができました。



手を挙げて省エネについて考えたことを発表してもらいました。

小平第二小学校出前授業パートナーシップ

小平第二小学校教員、工学院大学の教授及び学生、エコダイラネットワークメンバー、環境政策課職員